

2006 年度

科目名 総合演習Ⅱ	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者 小田 浩伸
授業テーマ 「人権」と「障害の基礎的理解」について学ぶ		
授業の概要と目標 私たちが目指すべき社会は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」である。その実現のためには、一人一人が鋭敏な人権感覚・人権意識を持つことと、障害について正しく理解することが不可欠である。これから教育や福祉分野で活動していくために必要な内容を取り上げて、グループや全体での討論・意見交換を行う。その際、討論の進め方、ファシリテーターの役割等についても学ぶ。		
評価方法 出席状況、発表レポート、討議への参加状況等により総合的に評価する。		
テキスト 随時プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 必要に応じて適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 - オリエンテーション（1） 自己紹介、総合演習の進め方等について - オリエンテーション（2） 研究テーマと方法について（実践研究、調査研究、文献研究等） - 演習・討論・発表（1） 「決める」という動詞キーワードから人権について考える - 演習・討論・発表（2） 「遊ぶ」という動詞キーワードから人権について考える - 演習・討論・発表（3） 「参加する」という動詞キーワードから人権について考える - 障害についての疑似体験（1） 「アイマスク体験」→ 感想・討論 - 障害についての疑似体験（2） 「車イス体験」→ 感想・討論 - 障害についての疑似体験（3） 「LD心理的疑似体験」→ 感想・討論 - 課題レポートの発表（1） 各自で調べたこと、考えたことを発表し、全体で討論する - 課題レポートの発表（2） 各自で調べたこと、考えたことを発表し、全体で討論する - 課題レポートの発表（3） 各自で調べたこと、考えたことを発表し、全体で討論する - 障害のある子どもの指導の実際（1） 自閉症の子どもの指導事例を通して - 障害のある子どもの指導の実際（2） 肢体不自由のある子どもの指導事例を通して - 障害のある子どもの指導の実際（3） LD・ADHD等の子どもの指導事例を通して - 全体のまとめ		